

「繊維産業における LCA 人材育成コンソーシアム発足記者会見」を行いました

## LCA 普及・構築・人材育成にマスコミ各社も熱い視線！

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター（東京都台東区、駒田展大理事長）は、国立大学法人信州大学 繊維学部（長野県上田市、森川英明学部長）を中心に繊維系検査機関 4 社で構成する【繊維産業における LCA 人材育成コンソーシアム】を設立しました。繊維産業におけるサステナビリティを推進する産学共同の取り組みとして注目を集める中、8月8日には東京都内でコンソーシアム発足記者会見を行い、一般新聞・繊維系専門紙・化学工業系専門紙など多分野の記者が参加しました。



信州大学繊維学部・森川英明学部長は「従来の経済モデルを循環型に転換する必要がある。4検査機関と連携して進めることで LCA を繊維産業に社会実装していきたい」と意気込みを語りました



コンソーシアムの社会的意義について説明するニッセンケン・安藤健専務理事。「単独では対応が難しい課題に、信州大学と4検査機関が協力して問題解決を行うことは大変意義がある」と強調しました

本コンソーシアムでは、繊維製品の大量生産・消費・廃棄等による環境負荷が社会問題となる中、LCA（ライフサイクル アセスメント）の考え方を繊維産業全体に普及させ、循環産業化の仕組み構築を目指すとともに、LCA のコンサルティングを行う人材育成等に取り組んでいきます。※コンソーシアムについて、詳しくは[こちら](#)から

記者会見で挨拶を行った安藤健専務理事は「ニッセンケンは 20 年以上エコテックス®認証を行い、安心安全な繊維製品の流通の促進に努め、またリサイクル PET 繊維の判別方法の開発などサステナブルな社会の実現に向けた活動をしてきました。今回、単独では対応が難しい大きな課題に対して信州大学繊維学部のお声掛けにより 4 検査機関が集まり、協力して課題解決を行っていくことは大変意義のあることです。この取り組みを成功させ、今後も大きな課題についてはこのコンソーシアムをスタート地点として、より多くの企業や団体が参加する大きな取組みに拡げていければと考えています」と述べました。



記者会見に臨んだ信州大学と4検査機関（左から、安藤健専務理事、日本繊維製品品質技術センター・舟木圭理事、森川英明学部長、カケンテストセンター・牟田勝広常務理事、ポーケン品質評価機構・丹下知彦専務理事）

コンソーシアムの活動や成果等については随時、[当財団ウェブサイト](#)で紹介しますのでぜひご注目ください！

※コンソーシアム関連情報 > ニッセンケンウェブサイト [【繊維産業における LCA 人材育成コンソーシアム】の設立について](#)  
信州大学ウェブサイト [繊維産業における LCA 人材育成](#) [人材育成講座プログラム](#)